# 貝ケ森社協だより

第 39 号
令和元年 秋発行
貝ケ森地区社会福祉協議会

## ご挨拶　大江　英俊

５月から塚本道廣さんの後任として会長職につきました。住み慣れた地域の中で「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会」を目指し、充実した地域福祉活動の実現に努めていきたいと思います。町内会をはじめ関係諸団体の皆さまのご協力を頂きながら小地域福祉ネットワーク活動（安否確認活動、生活支援活動、サロン活動）等の事業により、地域の皆さまと共に取り組んで行きたいと思いますのでよろしくお願い致します。

## 令和元年度　定期総会報告

５月１１日（土）貝ケ森市民センターに於いて、貝ケ森地区社会福祉協議会の定期総会を開催いたしました。多数の会員出席のもと平成３０年度事業報告並びに令和元年度事業計画が承認されました。

### 1. 平成 30 年度事業報告

平成 30 年度事業は、前年度にひき続き日常の生活に不安のある方々を地域で見守り支援していく小地域ネットワーク活動の推進に取り組んできました。また社協会費をはじめ赤い羽根共同募金につきましても各町内会の皆様のご協力を得ることができました。

小地域ネットワーク活動の概要

福祉委員数　16 名　　対象世帯　495 世帯

① 安否確認活動・・・訪問・電話・見守り等（のべ 6692 回）
② 生活支援活動・・・家事援助・外出付き添いなど（のべ 143 回）
③ 定例行事・・福祉委員会（月１回）・お食事会（１０月開催）
友愛訪問（年８回）・ふれあい交流サロン（年６回）
研修会(年 2 回)歳末のお見舞い(12 月)・音楽カフェ(年 12 回)
④ 町内会ごとの行事・・・敬老会・ふれあいサロン・町内福祉会議等
⑤ 広報活動・・・社協だより 37・38 号発行
⑥ その他・・・関連団体の各種研修、会議、行事への参加

### 2．令和元年度事業計画

今後の日常の生活に不安をお持ちの方々が、住み慣れた地域の中で「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくる」という活動理念のもと、今年度も小地域ネットワーク活動を中心に事業を進めてまいります。

・小地域ネットワーク活動の積極的推進（対象者：高齢者の方,障害をお持ちの方, 子育てをしている方等、福祉ニーズをお持ちの方々）
・災害時要援護者支援ネットワーク作りへの協力
・社会福祉協議会普通会員と特別会員の増加促進
・青少年の健全育成活動に対する援助協力
・ボランティア活動の参加推進　・福祉関係各種研修会への積極参加

・社会福祉団体、施設などへの協力・赤い羽根共同募金運動への協力
・各種災害被災者への援助協力・その他本会の目的達成のために必要な援助と事業の推進

3．平成30年度貝ケ森地区社協会費及び共同募金の報告

平成30年度貝ケ森地区社会福祉協議会会費及び募金明細

単位：円

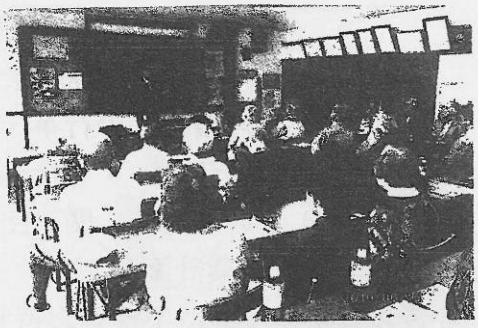
| | 社協会費 | 募金 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 恵通苑 | 54,400 | 80,400 | 134,800 |
| 西町内会 | 85,500 | 103,400 | 188,900 |
| 中町内会 | 68,700 | 68,700 | 137,400 |
| 東町内会 | 51,300 | 51,300 | 102,600 |
| 南町内会 | 30,600 | 51,000 | 81,600 |
| 萩町内会 | 31,800 | 45,000 | 76,800 |
| 表町内会 | 24,900 | 40,000 | 64,900 |
| 親和会 | 16,800 | 28,500 | 45,300 |
| 国見民児協 | | 6,000 | 6000 |
| 東北福祉大 | | 20,000 | 20000 |
| せんだんの里 | | 3,000 | 3000 |
| 貝ケ森児童館 | | 6 | 6 |
| | 364,000 | 497,306 | 861,306 |

上半期の各町内会のふれあいサロンと交流サロンを紹介いたします。

## 恵通苑ふれあいサロン

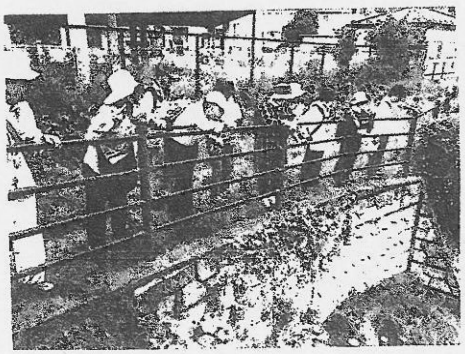
令和元年６月１５日

「特殊詐欺（振り込め詐欺）の手口と対応策」と題し、第１回ふれあいサロンを開催しました。４２名の参加者は、講師の仙台市防犯協会連合会事務局次長の本田勉氏の具体的なお話しに耳を傾けていました。「自分だけは大丈夫」と思わないことが大事です。



## 第１回交流サロン

令和元年６月２７日



いまにも雨が落ちてきそうな曇り空、地域のお散歩の会のメンバー９名と参加申し込みの方々総勢２２名で今年最初の地区社協と市民センター共催による交流サロンを開催しました。市民センターを出発して貝ケ森郵便局の下方にある枯れ木橋を渡り梅田川沿いに荒巻神明社へ、交通の激しい葉山を抜けて堤町にある天神社まで足を延ばしました。今回は講師の方を招かずに手元にある資料をもとに由緒ある神社を散策しました。

## 交流サロンサマーナイトコンサート

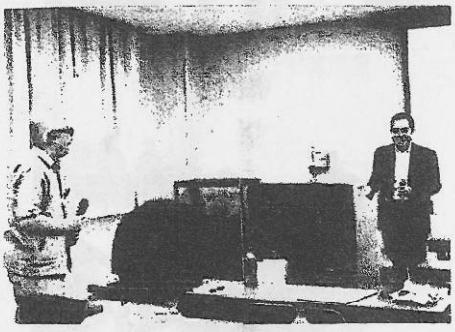
令和元年８月３０日

８月３０日（金）18:30 より貝ケ森市民センターにて開かれました。演奏は古澤陽子とサポオリエンテの方々でした。ベネゼイラハープやクアトロギター、コントラバスによるベネズエラの曲は軽快な音楽で親しみが持てました。なかなか聞く機会が少ないラテン音楽は時には重厚でコンサート参加者の心に染みわたりました。ベネゼイラの伝統音楽の「キルパ」を荒々しく演奏してくれました。「コーヒーを挽きながら」は手拍子をしながら聞き入りました。スペイン語の力強い歌もあり素晴らしい音楽に最後まで吸い込まれました。

## 西町内会ふれあいサロン

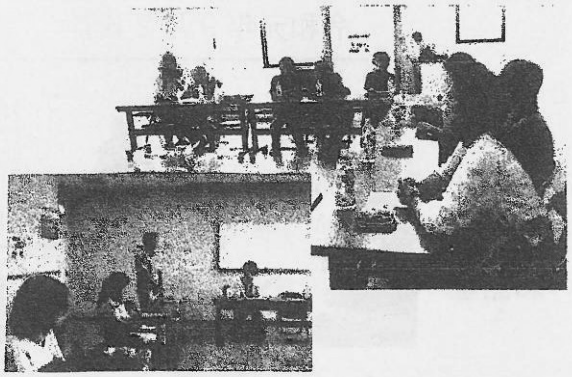
令和元年９月１０日

高齢化する会員にとって関心が強い終活について、行政書士の三浦征裕さんを講師に迎え 17 名参加し、質疑応答も活発に有意義な会でした。平均男性約 71 歳女性 74 歳の健康寿命の期間まだ判断能力が失われないうちに、事務委任・成年後見・尊厳死宣言・遺言等の手続きをしておく大切さを知る事ができました。資料としてエンディングノートを戴き自分についての人生を振り返り、記入する事で家族と各種手続きについて話し合う機会になり、重宝するお土産品まで頂けた交流サロンでした。



## 親和会ふれあいサロン

令和元年９月１２日



台風一過の穏やかな天気に恵まれた９月１２日にふれあいサロンを開催しました。今回は国見包括支援センターの大西さんに介護保険のポイントについて分かり易く説明して頂きその後は参加者の皆さんと食事を頂きながら交流を深めました。介護支援について戸惑っている時は、国見包括支援センターに相談することが最良の作という事を再認識しました。

## 中町内会敬老祝賀会

令和元年９月１４日

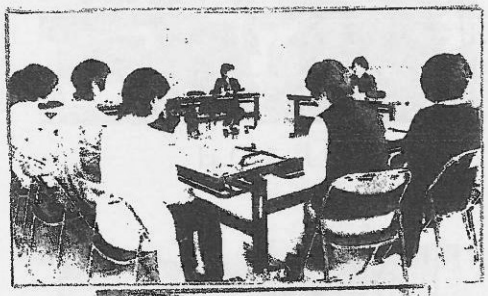
９月１４日（土）市民センターで開かれました。７０歳以上の５６名が参加し、北条会長の挨拶の後、古希・喜寿米寿の方々に祝金が贈呈されました。催し物は国見包括支援センターの千葉さんに「包括支援センターの役割」～どんな時に相談すればよいのか～を事例を通して分かり

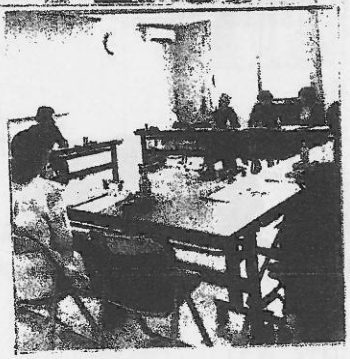
易く話して頂きました。

次に常盤木学園の高校生によるピアノ・ヴァイオリンなどの演奏を楽しみました。「赤とんぼ」「ふるさと」をみんなで歌いました。お弁当とビール、お茶、紅白饅頭が配布されました。今年は参加者全員がテーブルに着いて食事をする体制が簡素化され、食事会場で食べる方と自宅に持ち帰って食べる方と選べる方法が取られました。町内会役員福祉委員、ボランティアが２か月前から準備しました。

## 福祉委員研修会

令和元年９月２０日





消費者権利擁護の研修会をひらきました。国見包括支援センターの大西さんに特殊詐欺について説明して頂きました。特殊詐欺には悪質商法や還付金詐欺、押し買い詐欺、アポ電詐欺リフォーム詐欺、振り込め詐欺、送り付け詐欺等々たくさんの詐欺がありどんどん新しい手口の詐欺も出てきているということです。そのため

①何かあった時には第三者に聞いてもらうこと

②気付いたらクーリングオフを考えてみること

③近所の人や福祉委員などの見守りの体制が必要である

無理な契約や内容に不安を感じたら、警察総合相談#９１１０や消費者ホットラインの１８８に相談して下さい。とのお話を聞き、私達も含め皆で被害に遭わないよう努めたいと思います。

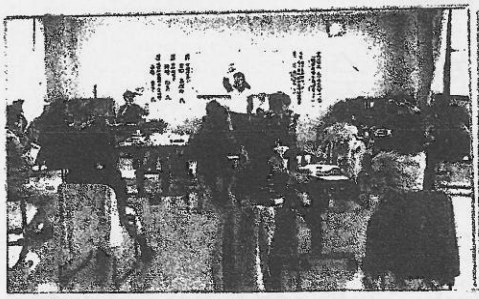
## 交流サロン「お茶っ子サロン」

令和元年９月２６日

暑さもようやく和らぎ過ごしやすい秋晴れの日、２０名の皆さんが集まり「お茶っ子サロン」が開かれました。

テーマは「健康寿命を延ばしましょう」というもので、せんだんの里の歯科衛生士さん・看護師さん・管理栄養士さんによる「歯周病と全身の病気」「嚥下体操」「食事」のお話をして頂きました。寿命を延ばす７つの習慣として

① 生活習慣病を知って予防する
② 適切な食生活をめざす
③ 適度な運動を心がける
④ 充分な睡眠をとる
⑤ 禁煙
⑥ お酒とは上手につきあう
⑦ 歯・口の中の健康を守る



まずできるところから始めて健康寿命を延ばしたいと思いました。